

17文科高第341号
平成17年8月16日

関係各国公私立大学(短期大学を除く)長 殿

文部科学省高等教育局長
石 川 明

(印影印刷)

平成18年3月31日限り奨学金支給期間満了予定の
国費外国人留学生の取扱いについて(通知)

標記のことについて、別添「奨学金支給期間満了予定の国費外国人留学生取扱い要領」により、帰国・延長の手続きを行っています。このうち延長希望者がある場合は、文部科学省ホームページに掲載している、取扱い要領に基づき、必要書類を提出(提出期間:平成17年12月1日(木)～9日(金)消印有効。なお、推薦に当たっては、必ず順位を付すこと。)して頂きますようよろしくお願いします。

また、平成18年4月1日以降、年度途中(平成18年8月31日又は9月30日)において奨学金支給期間が満了することとなる者のうち、延長希望者がある場合には、この要領に準じ平成18年5月16日(火)～24日(水)までに申請(必着)するよう、手続きをお願いします。

なお、今回から博士課程(博士後期課程)進学にかかる申請基準を次のとおり変更していますので、学内へ周知して頂きますようよろしくお願いします。

(変更前)

博士課程へ進学予定の非正規生(研究生)は、文系理系にかかわらず、1年以内(日本語予備教育期間含む)の進学

↓

(変更後)

博士課程へ進学予定の理系非正規生(研究生)は1年以内(日本語予備教育期間含む)の進学、**文系非正規生(研究生)は2年未満(日本語予備教育期間含む)の進学**

奨学金支給期間満了予定の国費外国人留学生取扱い要領

I 帰国を希望する者について

平成18年3月31日限りで奨学金支給期間が満了する者のうち、帰国旅費の支給を希望する者は、帰国旅費支給申請を行うこと（国費外国人留学生に係る渡日旅費及び帰国旅費について（平成17年5月30日付け学支留計第45号にて日本学生支援機構より通知済）を参照のこと）。

次に掲げる者は、帰国旅費を申請する必要はない。

- （① 文部科学省以外の公的機関から帰国旅費の支給を受ける者
- ② 帰国を希望しない者（帰国旅費支給辞退者を含む）

なお、期間延長申請者のうち期間延長が認められた者等については、当該帰国旅費申請は失効するものとする。

航空券の手配等に際し、帰国旅費を申請した者に大学を通じ連絡をとることがあるので、申請から帰国までの間は速やかに連絡がとれるよう指導すること。

II 延長を希望する者について

奨学金支給期間延長の申請が可能な者は、別紙「奨学金支給期間延長の申請基準」で申請可となっている者である。

1 研究留学生の奨学金支給期間延長について

(1) 対象者

平成18年3月をもって奨学金支給期間が満了する研究留学生のうち、平成18年4月以降も引き続き大学院修士課程、専門職学位課程、もしくは博士課程に在学あるいは進学する者。

引き続き研究生等の非正規生の在学身分のままで研究継続、奨学金支給期間が長期に渡る者の延長は認めない。また、留年者の申請は認めない。

なお、採用時及び過去に延長が認められた時に期限を付された者の延長申請は行わないこと。

(2) 延長対象となる奨学金支給期間

平成18年4月1日から当該課程修了までの期間

(3) 提出書類（各一部提出）

ア 申請書（進級（学年進行）の場合は別紙様式1を、修士課程、専門職学位課程、又は博士課程へ進学する場合は別紙様式2を使用）

イ 研究計画書（A4版、申請書中の7を参照）

ウ 成績証明書（申請時在学課程1年次から取得可能な最近のものまで）

エ 指導教員の意見書（別紙様式6）

オ 推薦調書（別紙様式 7）

カ 申請者一覧

2 学部留学生から研究留学生への採用について

(1) 対象者

平成 18 年 3 月に卒業する学部留学生のうち、引き続き平成 18 年 4 月から大学院修士課程、専門職学位課程又は博士前期課程に入学する者。

ただし、高等専門学校留学生、もしくは専修学校留学生として採用され、学部 3 年次に編入学した者については、対象外とする。

(2) 延長対象となる奨学金支給期間

平成 18 年 4 月 1 日から当該課程修了までの期間

(3) 提出書類（各一部提出）

ア 申請書（別紙様式 2）

イ 研究計画書（A 4 版、申請書中の 7 を参照）

ウ 成績証明書（学部 1 年次から取得可能な最近のものまで）

エ 指導教員の意見書（別紙様式 6）

オ 推薦調書（別紙様式 7）

カ 申請者一覧

3 国費外国人医事実地研修生及び国費外国人臨床研修生の採用について

(1) 対象者（医事実地研修生）

平成 18 年 3 月に医学部を卒業する学部留学生のうち、臨床研修生を希望する者で、平成 18 年 4 月から国費外国人臨床研修生になるまでの間、大学の医学部又は大学附置の研究所の附属施設である病院において実地研修に従事しようとする者。

(注) 医学部卒業者が臨床研修生になるためには、医師国家試験に合格し、医師免許を取得することが必要であるので、卒業後 1 年以内に期間を限って一定の要件を満たす者について国費外国人医事実地研修生として奨学金を支給する。

(2) 延長対象となる奨学金支給期間

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日までの間で実地研修に従事する期間

(3) 提出書類（各一部提出）

ア 申請書（別紙様式 3）

イ 実施研修計画書又は臨床研修計画書（申請書中の 7 を参照）

ウ 卒業見込証明書

エ 成績証明書（学部 1 年次から取得可能な最近のものまで）

オ 指導教員の意見書（別紙様式 6）

カ 推薦調書（別紙様式 7）

キ 申請者一覧

(4) 医事実地研修生から臨床研修生への採用について

国費外国人医事実地研修生に採用後、6か月以内に医師国家試験に合格した者が、医師法（昭和23年7月30日付法律第201号）第16条の2に定める臨床研修を行う国費外国人臨床研修生（2年間）となるためには、速やかに医師免許を取得し、次の書類を文部科学省高等教育局長あてに提出すること（各1部提出）。

- ア 申請書（別紙様式4）
- イ 医師免許の取得を証明する書の写し
- ウ 臨床研修計画書（申請書中の7を参照）
- エ 指導教員の意見書（別紙様式6）
- オ 推薦調書（別紙様式7）
- カ 申請者一覧

4 国費外国人工場等実習生の採用について

(1) 対象者

平成18年3月に理工系学部を卒業する学部留学生のうち、引き続き平成18年4月から日本の工場等の施設（一つの施設に限る）において実習指導者のもとに実習を行う者。

(2) 延長対象となる奨学金支給期間

平成18年4月1日から平成18年6月30日までの間で、工場等実習に必要な期間

(3) 提出書類（各2部提出、うち副本1部）

- ア 申請書（別紙様式5）
- イ 工場等実習計画書（申請書中の7を参照）
- ウ 卒業見込証明書
- エ 成績証明書（学部1年次から取得可能な最近のものまで）
- オ 指導教員の意見書（別紙様式6）
- カ 推薦調書（別紙様式7）
- キ 申請者一覧

5 大学の変更について

- (1) 延長申請に際し、大学院（修士課程、専門職学位課程及び博士課程）への進学希望先は、2大学2研究科（第2希望まで）に限ることとする。また、大学院（修士課程、専門職学位課程及び博士課程）への進学にあたり、大学を変更する必要がある場合には、その理由を「指導教員の意見書」（別紙様式6：大学変更の場合、その所見欄）及び「推薦調書」（別紙様式7：推薦理由欄）に記入すること。なお、あらかじめ申請した大学以外の大学院、研究科への進学は認められない。

- (2) 大学推薦により採用された留学生の他大学進学については、延長を認めない。
(国内採用で採用された留学生は、他大学への進学は可能)

6 その他

- (1) 延長申請を行う者のうち、本人があらかじめ本国政府もしくは在日公館又は勤務先責任者（本国で現職にあるもの）の許可を得ておくことが必要な者については、大学側で事前に本国への確認を指導するとともに、その結果の確認を必ず行うこと。
- (2) 要領Ⅱ 1 に該当する者のうち、修士課程や専門職学位課程へ進学予定の理系非正規生（研究生）については、2年未満（日本語予備教育期間含む）の進学を延長申請の条件としている。また、博士課程へ進学予定の理系非正規生(研究生)は、1年以内（日本語予備教育期間含む）の進学、文系非正規生(研究生)は2年未満（日本語予備教育期間含む）の進学を延長申請の条件としている。今回から博士課程進学にかかる申請基準を変更しているので注意すること。なお、進学を予定している者が進学できなかった場合には、採用を取り消すこととする。
- (3) 延長申請については、厳しい審査の上承認されることとなるので、研究計画書の他に「指導教員の意見書」（別紙様式6）には、国費外国人留学生としての延長を推薦するにふさわしい人物であることを具体的に記すこと。（推薦に至る具体的説明の乏しい者については、延長対象としてふさわしくない者として取扱うので留意願いたい。）
- (4) 申請書類の提出期間については、平成17年12月1日（木）～9日（金）とする。（当日消印有効）
- (5) 結果通知については、平成18年2月末までに文書にて通知する。
- (6) 申請書類提出の際は、「国内採用（学部留学生）申請書類」及び「国内採用（研究留学生）申請書類」とは必ず別便で送付すること。
- (7) 申請者一覧は、電子データもメールにて提出期間内に提出すること。

7 提出先及び問い合わせ先

文部科学省高等教育局学生支援課国費留学生係
〒100-8959 東京都千代田区丸の内2-5-1
TEL 03-5253-4111 (EXT:2624) FAX 03-6734-3394
E-mail gakushi@mext.go.jp（電子データ提出先）

奨学金支給期間延長の申請基準

番 号	延 長 理 由	申請可否	延長許可年限	条 件（申請可能な者）
1	① 研 究 生 → 修 士 課 程 入 学 専門職学位課程入学	申請可	正 規 の 課 程 修 了 期 間	理系：非正規生の期間が予備教育期間含め2年未満の者
	② 修士・専門職学位課程学年進行	申請可	正 規 の 課 程 修 了 期 間	
	③ 研 究 生 → 博 士 課 程 入 学	申請可	正 規 の 課 程 修了期間限り	理系：非正規生の期間が予備教育期間含め1年以内の者 文系：非正規生の期間が予備教育期間含め2年未満の者
	④ 修 士 課 程 修 了 → 博 士 課 程 入 学 専門職学位課程修了	申請可	正 規 の 課 程 修了期間限り	学部からの採用者以外の者
	⑤ 博士課程学年進行	申請可	正 規 の 課 程 修了期間限り	
2	学 部 卒 業 → 修 士 課 程 入 学 専門職学位課程入学	申請可	正 規 の 課 程 修了期間限り	学部留年者、高専・専修学校からの編入学者、医歯系学部卒業生以外の者
3	高 専 卒 業 → 学 部 3 年 次 学 専 修 学 校 修 了 → 編 入	申請可	2 年限り	（申請は別通知による（高専、専修学校にのみ通知））
4	医 歯 系 学 部 卒 業 → 医 事 実 地 研 修 医 事 実 地 研 修 修 了 → 臨 床 研 修	申請可	1 年以内 2 年以内	学部留年者以外の者
5	理 工 系 学 部 卒 業 → 工 場 等 実 習	申請可	3 ヶ月以内	
6	学 部 留 年	申請不可		
	学 部 卒 業 → 研 究 生	申請不可		
	研 究 生 → 研 究 生	申請不可		
	修士・専門職学位・博士課程留年	申請不可		
	博 士 課 程 修 了 → 専 門 職 学 位 課 程 入 学	申請不可		
	修 士 ・ 専 門 職 学 位 → 研 究 生 ・ 博士課程修了	申請不可		

※ 5年一貫制博士課程においては、前期2年を上表「修士」として、後期3年を「博士」として取り扱うものとする。

個人番号

奨学金支給期間延長申請書（学年進行用）

記入上の注意

- ① 日本語又は英語で記入すること。
- ② 記入は、楷書又はローマ字活字体を用いること。
- ③ 数字は、算用数字を用いること。
- ④ 年号は、すべて西暦とする。
- ⑤ 固有名詞は、すべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
- ⑥ 奨学金支給希望期間については、今回の申請で延長可能な期間を記入すること。（本人が希望する期間ではない：例えば、現在修士課程在学中だが課程途中で支給期間が切れ、今後「修士→博士」と延長を希望している場合、今回は修士修了までの期間を記入すること。）

写 真
(縦6×横4cm)
最近6ヶ月以内に撮影した
上半身、正面、脱帽のもの
裏面に大学名、氏名を記入
すること。

1 氏名（自国語）

(Family Name) (First Name) (Middle Name) (男・女)
(ローマ字)

(Family Name) (First Name) (Middle Name) (即婚・未婚)

2 国籍

3 生年月日 19 年 月 日生（満 才）
(年齢は、2006年4月1日現在で記入のこと)

4 現住所
電話番号 Eメールアドレス

5 在学大学名 大学 研究科 専攻
大学院 修士(博前)・専門職学位・博士(博後) 課程 年次・研究生 在学中
入学・卒業見込年月 年 月入学 年 月卒業・卒業見込
指導教員名

6 奨学金支給希望期間 年 月から計 ヶ月間

7 研究計画又は研究状況

現在の研究状況について、日本語又は英語で作成すること。(様式は任意、枚数は問わない)。
なお、1枚目の最上段には大学及び研究科、国籍、氏名、テーマを記し、複数枚の場合はページを付すこと。

8 論文の題名 (学士・修士・博士) ※該当するもの(最新のもの)に○をすること。作成予定のものでも可。

9 収入状況(配偶者及び家族と同居している場合は、その総収入を併記すること)

1か月の平均収入 _____ 円 (文部科学省奨学金は除く)

[内訳]

(1) 仕送額	月額	円	
(2) アルバイト	月額	円	
(3) その他の収入額	月額	円	(内容: _____)

10 住居状況

(1) 住居費 _____ 月額 _____ 円 (光熱水料等を除いた家賃のみ記入すること)

(2) 住居の種別(該当するものを○で囲むこと)

自宅 借家 下宿(食事付) 間借 寮 アパート 同居 その他

11 家族状況(現在、渡日している家族のみ記入すること。)

氏 名	続 柄	年 齢	職 業	同居、別居

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、国費外国人留学生(研究留学生)として奨学金支給期間延長を希望し、申請します。

文 部 科 学 大 臣 殿

申請年月日 _____ 年 月 日

申請者署名 _____

個人番号

奨学金支給期間延長申請書（修士・専門職学位・博士課程への進学用）

記入上の注意

- ① 日本語又は英語で記入すること。
- ② 記入は、楷書又はローマ字活字体を用いること。
- ③ 数字は、算用数字を用いること。
- ④ 年号は、すべて西暦とする。
- ⑤ 固有名詞は、すべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
- ⑥ 奨学金支給希望期間については、今回の申請で延長可能な期間を記入すること。（本人が希望する期間ではない：例えば、現在研究生の者が「研究生→修士→博士」と延長申請予定である場合、今回は修士修了までの期間を記入すること。）

写 真
(縦6×横4cm)

最近6ヶ月以内に撮影した
上半身、正面、脱帽のもの
裏面に大学名、氏名を記入
すること。

1 氏名（自国語）

(Family Name) (First Name) (Middle Name)
(ローマ字)

(Family Name) (First Name) (Middle Name)
(即婚・未婚)

2 国籍

3 生年月日 19 年 月 日生（満 才）

_____（年齢は、2006年4月1日現在で記入のこと）

4 現住所

電話番号 _____ E メールアドレス _____

5 在学大学名 _____ 大学 _____ 学部・研究科 _____ 専攻 _____
大学院 修士(博前)・専門職学位・博士(博後) 課程 _____ 年次・研究生 在学中
入学・卒業見込年月 _____ 年 月入学 _____ 年 月卒業・卒業見込 _____
指導教員名 _____

6 進学予定大学及び希望する奨学金支給希望期間

(1) 第一希望 _____ 大学 _____ 研究科
(2) 第二希望 _____ 大学 _____ 研究科
(3) 奨学金支給希望期間 _____ 年 月から計 _____ ヶ月間

7 研究計画又は研究状況

進学先研究科での研究計画について、日本語又は英語で作成すること。(様式は任意、枚数は問わない)。なお、1枚目の最上段には現在の大学及び研究科(又は学部)、国籍、氏名、テーマを記し、複数枚の場合はページを付すこと。

8 論文の題名 (学士・修士・博士) ※該当するもの(最新のもの)に○をすること。

9 収入状況(配偶者及び家族と同居している場合は、その総収入を併記すること)

1か月の平均収入 _____ 円 (文部科学省奨学金は除く)

[内訳]

(1) 仕送額	月額	円	
(2) アルバイト	月額	円	
(3) その他の収入額	月額	円	(内容: _____)

10 住居状況

(1) 住居費 _____ 月額 _____ 円 (光熱水料等を除いた家賃のみ記入すること)

(2) 住居の種別(該当するものを○で囲むこと)

自宅 借家 下宿(食事付) 間借 寮 アパート 同居 その他

11 家族状況(現在、渡日している家族のみ記入すること。)

氏 名	続 柄	年 齢	職 業	同居、別居

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、国費外国人留学生(研究留学生)として奨学金支給期間延長を希望し、申請します。

文 部 科 学 大 臣 殿

申請年月日 _____ 年 月 日

申請者署名 _____

個人番号 _____

奨学金支給期間延長申請書（国費外国人医事実地研修生用）

記入上の注意

- ① 日本語又は英語で記入すること。
- ② 記入は、楷書又はローマ字活字体を用いること。
- ③ 数字は、算用数字を用いること。
- ④ 年号は、すべて西暦とする。
- ⑤ 固有名詞は、すべて正式な名称とし、一切省略しないこと。

写 真
(縦6×横4cm)

最近6ヶ月以内に撮影した
上半身、正面、脱帽のもの
裏面に大学名、氏名を記入
すること。

1 氏名（自国語）

(Family Name) (First Name) (Middle Name) (男・女)

(ローマ字)

(Family Name) (First Name) (Middle Name) (即婚・未婚)

2 国籍

3 生年月日 19 年 月 日生（満 才）

（年齢は、2006年4月1日現在で記入のこと）

4 現住所

電話番号 E メールアドレス

5 在学大学名

大学

学部

専攻

大学院 修士(博前)・専門職学位・博士(博後) 課程

年次・研究生

在学中

入学・卒業見込年月

年

月入学

年

月卒業・卒業見込

指導教員名

6 進学希望大学

大学

病院

所在地：

7 実地研修計画

実地研修計画について、日本語又は英語で作成すること。(様式は任意、枚数は問わない)。なお、1枚目の最上段には現在の大学及び学部、国籍、氏名、研究テーマを記し、複数枚の場合はページを付すこと。

8 卒業論文の題名

9 収入状況(配偶者及び家族と同居している場合は、その総収入を併記すること)

1か月の平均収入 _____ 円 (文部科学省奨学金は除く)

[内訳]

(1) 仕送額	月額	円	
(2) アルバイト	月額	円	
(3) その他の収入額	月額	円	(内容: _____)

10 住居状況

(1) 住居費 _____ 月額 _____ 円 (光熱水料等を除いた家賃のみ記入すること)

(2) 住居の種別(該当するものを○で囲むこと)

自宅 借家 下宿(食事付) 間借 寮 アパート 同居 その他

11 家族状況(現在、渡日している家族のみ記入すること。)

氏 名	続 柄	年 齢	職 業	同居、別居

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、国費外国人医事実地研修生になることを希望するので、申請します。

文 部 科 学 大 臣 殿

申請年月日 _____ 年 月 日

申請者署名 _____

個人番号 _____

奨学金支給期間延長申請書（国費外国人臨床研修生用）

記入上の注意

- ① 日本語又は英語で記入すること。
- ② 記入は、楷書又はローマ字活字体を用いること。
- ③ 数字は、算用数字を用いること。
- ④ 年号は、すべて西暦とする。
- ⑤ 固有名詞は、すべて正式な名称とし、一切省略しないこと。

写 真
(縦6×横4cm)

最近6ヶ月以内に撮影した
上半身、正面、脱帽のもの
裏面に大学名、氏名を記入
すること。

1 氏名（自国語）

(Family Name)

(First Name)

(Middle Name)

(男・女)

(ローマ字)

(Family Name)

(First Name)

(Middle Name)

(即婚・未婚)

2 国籍 _____

3 生年月日 19 年 月 日生（満 才）
（年齢は、2006年4月1日現在で記入のこと）

4 現住所 _____
電話番号 _____ Eメールアドレス _____

5 在学大学名 _____ 大学 _____ 学部 _____ 専攻 _____
大学院 修士(博前)・専門職学位・博士(博後) 課程 _____ 年次・研究生 在学中
入学・卒業見込年月 _____ 年 月入学 _____ 年 月卒業・卒業見込
指導教員名 _____

6 希望する臨床研修施設及び奨学金支給期間
(1) 施設名： _____
所在地： _____
(2) 奨学金支給希望期間 _____ 年 月から計 _____ ヶ月間（2年以内）

7 臨床研修計画

臨床研修計画について、日本語又は英語で作成すること。(様式は任意、枚数は問わない)。なお、1枚目の最上段には現在の大学及び学部、国籍、氏名、研究テーマを記し、複数枚の場合はページを付すこと。

8 卒業論文の題名

9 収入状況(配偶者及び家族と同居している場合は、その総収入を併記すること)

1か月の平均収入 _____ 円 (文部科学省奨学金は除く)

[内訳]

(1) 仕送額	月額	円	
(2) アルバイト	月額	円	
(3) その他の収入額	月額	円	(内容: _____)

10 住居状況

(1) 住居費 _____ 月額 _____ 円 (光熱水料等を除いた家賃のみ記入すること)

(2) 住居の種別(該当するものを○で囲むこと)

自宅 借家 下宿(食事付) 間借 寮 アパート 同居 その他

11 家族状況(現在、渡日している家族のみ記入すること。)

氏 名	続 柄	年 齢	職 業	同居、別居

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、国費外国人臨床研修生になることを希望するので、申請します。

文 部 科 学 大 臣 殿

申請年月日 _____ 年 月 日

申請者署名 _____

個人番号 _____

奨学金支給期間延長申請書（国費外国人工場等実習生用）

記入上の注意

- ① 日本語又は英語で記入すること。
- ② 記入は、楷書又はローマ字活字体を用いること。
- ③ 数字は、算用数字を用いること。
- ④ 年号は、すべて西暦とする。
- ⑤ 固有名詞は、すべて正式な名称とし、一切省略しないこと。

写 真
(縦 6 × 横 4 cm)

最近 6 ヶ月以内に撮影した
上半身、正面、脱帽のもの
裏面に大学名、氏名を記入
すること。

1 氏名（自国語）

_____	_____	_____	
(Family Name)	(First Name)	(Middle Name)	
			(男・女)
(ローマ字)			

_____	_____	_____	
(Family Name)	(First Name)	(Middle Name)	
			(即婚・未婚)

2 国籍

3 生年月日 19 年 月 日生（満 才）

（年齢は、2006 年 4 月 1 日現在で記入のこと）

4 現住所

_____	_____
電話番号	E メールアドレス
_____	_____

5 在学大学名

大学

学部

大学院 修士(博前)・専門職学位・博士(博後) 課程 年次・研究生 在学中

入学・卒業見込年月 年 月入学 年 月卒業・卒業見込

指導教員名

6 希望する実習施設及び奨学金支給期間

(1) 施設名： _____

所在地： _____

(2) 奨学金支給希望期間 年 月から計 ヶ月間（3 ヶ月以内）

7 工場等での実習計画

実習計画について、日本語又は英語で作成すること。(様式は任意、枚数は問わない)。なお、1枚目の最上段には現在の大学及び学部、国籍、氏名、研究テーマを記し、複数枚の場合はページを付すこと。

8 卒業論文の題名

9 収入状況(配偶者及び家族と同居している場合は、その総収入を併記すること)

1か月の平均収入 _____ 円 (文部科学省奨学金は除く)

[内訳]

(1) 仕送額	月額	円	
(2) アルバイト	月額	円	
(3) その他の収入額	月額	円	(内容: _____)

10 住居状況

(1) 住居費 _____ 月額 _____ 円 (光熱水料等を除いた家賃のみ記入すること)

(2) 住居の種別(該当するものを○で囲むこと)

自宅 借家 下宿(食事付) 間借 寮 アパート 同居 その他

11 家族状況(現在、渡日している家族のみ記入すること。)

氏 名	続 柄	年 齢	職 業	同居、別居

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、国費外国人工場等実習生になることを希望するので、申請します。

文 部 科 学 大 臣 殿

申請年月日 _____ 年 月 日

申請者署名 _____

(別紙様式 6)

指導教員の意見書

申請者所属	大学			学部・研究科
個人番号		氏名		

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

【大学変更の場合、その所見】

指導教員所属	大学			学部・研究科
職 名		氏 名	印	

(別紙様式 7)

大学名： (大学番号：)

申請区分		延長理由	
区分中推薦順位	第 位／ 人中	国費番号	
氏名			
生年月日（年齢）	19 . . （ ）	性別	M ・ F
現住所			
電話番号		国籍	
e-mail			
専攻分野	学（医歯学、理学、工学、農学、人文科学、社会科学、芸術） 特に に関する研究		
学位論文題目	学士 修士 博士 論文題目 ----- -----		
申請時在学機関	大学 学部・研究科 専攻 学部・修・専・博 年次・研究生 指導教員名：-----		
2006年4月（又は9 .10月）在学機関	第一希望 大学大学院 研究科 専攻 修・専・博 年次 指導教官名：-----（未定の場合は記入不要） 第二希望 大学大学院 研究科 専攻 修・専・博 年次 指導教員名：-----（未定の場合は記入不要）		
延長期間	2006年 月 ～ 200 年 月 （ ヶ月間延長）		
学業成績	-----		
語学能力	日本語 英語 その他（ ）		
推薦理由	----- ----- ----- ----- -----		
論文発表 及び受賞歴等	----- -----		

記入例

(別紙様式7)

大学名： ○ ○ 大 学 (大学番号：123456)

申請区分	1-④	延長理由	修士修了→博士入学
区分中推薦順位	第 1 位／ 8 人中	国 費 番 号	0 0 0 0 0 0
氏 名	MONBUKAGAKU TARO		
生年月日(年齢)	1977.12.04 (29)	性 別	M ・ F
現 住 所	東京都千代田区霞が関00-00		
電 話 番 号	03-0000-0000	国 籍	アメリカ合衆国
e-mail	montaro@monka.ac.jp		
専攻分野	国 際 経 済 学 (医歯学、理学、工学、農学、人文科学、社会科学、芸術) 特に ○○○○と○○○○における○○○ に関する研究		
学位論文題目	学士 修士 博士 論文題目 ○○○に関する考察		
申請時在学機関	○ ○ 大学 ○ ○ 学部・研究科 ○ ○ 専攻 学部 修・専・博 2年次・研究生 指導教員名： ○ ○		
2006年4月(又は9月・10月)在学機関	第一希望 ○ ○ 大学 ○ ○ 研究科 ○ ○ 専攻 修・専・博 1年次 指導教官名： (未定の場合は記入不要) 第二希望 × × 大学 × × 研究科 ○ ○ 専攻 修・専・博 1年次 指導教官名： (未定の場合は記入不要)		
延長期間	2006年 4 月 ～ 200 9 年 3 月 (36 ヶ月間延長)		
学 業 成 績	優		
語 学 能 力	日本語 優 英語 優 その他(仏語) 良		
推 薦 理 由	○○○○・・・		
論 文 発 表 及び受賞歴等	05.12.10 ○○賞受賞(団体名：○○○○) 04.9.2 論文「○○○に関する考察」を発表(○○○調査会主催の○○研究会にて)		

＜推薦調書作成要領＞

- 1 本様式は、審査の際、選考資料として使用するので、文書作成ソフト等を用いて作成すること。
- 2 本様式は、推薦者 1 名に対し 1 枚作成すること。また、個人の封筒には封入せず、公文書の後、当該大学申請者一覧を添付し、その後に全員分を添付すること。
- 3 「大学番号」欄は、別添の大学番号一覧の番号を記入すること。
- 4 「国籍」欄は、別添の国籍コード一覧の国名とすること。（例：○アメリカ合衆国 × 米国）
- 4 申請区分は、別紙「奨学金支給期間延長の申請基準」の番号を記入すること。
- 5 延長理由は、別紙「奨学金支給期間延長の申請基準」の「延長の理由」欄を参照のこと。
- 6 推薦順位は、各区分（1～5）ごとに付すこと。但し、申請区分の「1－①～⑤」は一つの区分として取り扱うこと。
- 7 「氏名」欄は、ローマ字大文字で申請書の記載方法順（パスポートの表記と同一とすること。）に記入すること。
- 8 「年齢」欄は、2006 年 4 月 1 日現在（延長開始時現在）とすること。
- 9 「学位論文題目」欄は、例えば修士進学予定の学部 4 年の者は学士論文、修士課程在学中で修士論文の題名が決まっていれば修士論文、未決定ならば学士論文というように、最新のものを記入すること。
- 10 「2006 年 4 月（又は 9.10 月）在学機関」欄は、学年進行の場合は第一希望欄に記入すること。
- 11 「延長期間」欄は、今回の申請で延長可能である期間を記入すること。（本人が希望する期間ではない。）
- 12 「学業成績」及び「語学能力」欄は、最近の成績表をもとに 100 点満点に換算・算定し、総合評価が 80 点以上を「優」、79～70 点を「良」、69～60 点を「可」、59 点以下を「不可」として記入すること。
- 13 「推薦理由」欄は、学力判定、研究業績等により、当該留学生在が推薦に値する人物であることを簡潔にまとめ記入すること（別添、別紙は添付しないこと）。

なお、本推薦様式が審査資料となるので、特に、推薦理由を明確に記入すること。

奨学金支給期間延長申請者一覧

大学番号	大学名

申請区分() [延長理由:]

枚数: /

[illegible]

＜申請者一覽記入要領＞

- 1 申請区分は、別紙「奨学金支給期間延長の申請基準」の区分のとおりとする（申請区分ごとに各々別葉とすること）。
- 2 推薦順位は大学ごと、申請区分ごとに必ず付すこと。
- 3 希望月数は、今回の申請で延長可能な月数を記入することとし、申請書に記入した期間と同じ月数を記入すること。
- 4 在籍年次、進学年次は、例えば研究生は「研究」、学部4年は「学部4」、修士2年は「修2」、博士1年は「博1」と記入すること。学年進行の者については前記の例にならない、適宜学年に当たる数字を変更すること。
- 5 採用区分については、①最初の2桁は採用年度の下2桁を記入すこと。②アルファベット1文字目は、大使館推薦:E 大学推薦:D 国内採用:K を記入すること。③アルファベット2文字目は、研究留学生:R 学部留学生:U を記入すること（採用時の身分）。 例:04ER＝2004年度採用の大使館推薦の研究留学生
- 6 医学系博士（4年課程）に進学する者及び在学中の者については、「医学系」欄に○をすること（博士3年課程のものについては記入不要）。
- 7 「数字」は半角文字、「氏名」欄にはローマ字半角大文字で申請書の記載方法順（パスポート表記と同一とする。）に記入すること。
- 8 「大学番号」・「国籍コード」・「国籍」欄は、別添一覧表を参照の上、正確に記入すること。
- 9 フォントの変更、セル内の改行、多量のスペースの挿入は行わないこと。
- 10 メール の 件 名 は 「 × × × × （ 大 学 番 号 ） ○ ○ 大 学 （ 延 長 申 請 ） 」 ， ファイル名も同様とする。
- 11 電子データ提出先：E-mail gakushi@mext.go.jp（文部科学省高等教育局学生支援課国費留学生係（担当：田中））

奨学金支給期間延長申請者一覧

大学番号	大学名
123456	〇〇〇大学

申請区分(1) [延長理由:] ←1-①～⑤の場合、申請区分には「1」のみ記入し、延長理由は記入不要

枚数: 1/2

[illegible]

申請区分(2) [延長理由: 学部卒業→修士入学]

枚数: 1/1

[illegible]